

システム概要

院内ネットワークを通して他部門システム（オーダーリングシステム）とコンピュータナースコールサーバー機を連動することで日々の患者情報（患者個人情報、患者移動情報、患者予定情報など）を病棟のコンピュータナースコール親機に取込み表示することが可能なシステムです。別途業者の電子カルテシステムと連動します。ナースコールは、PHSシステムと連動し、PHSの選択等は画面上で行います。携帯端末は別途業者のPDAシステムとなります。

- ① 患者氏名や必要な患者情報をナースコールコンピュータのディスプレイに表示する。この患者氏名や患者情報は、オーダーリングシステムと接続することにより自動登録更新することができる。（ベッド移動にも対応）
- ② ナースコール呼出があると呼出があった患者さんの名前がポップアップして拡大表示される。
- ③ コンピュータナースコール親機から一斉放送や個別に患者さんへ呼び出して通話をする場合や患者さんの情報を見たり、ナースコールの履歴を見る場合は画面をタッチするだけで簡単に操作できる。チームごとのPHSの割付も看護師さんがこの画面をタッチするだけで自由に設定することができる。
- ④ 万が一、コンピュータナースコール親機のシステムがダウンしても、デジタル表示式親機により、どこの部屋のどのベッドの患者さんが呼び出しているのが確認できて通話をすることができる。

ナースコール及び患者情報管理、病床管理機能

〈機能〉

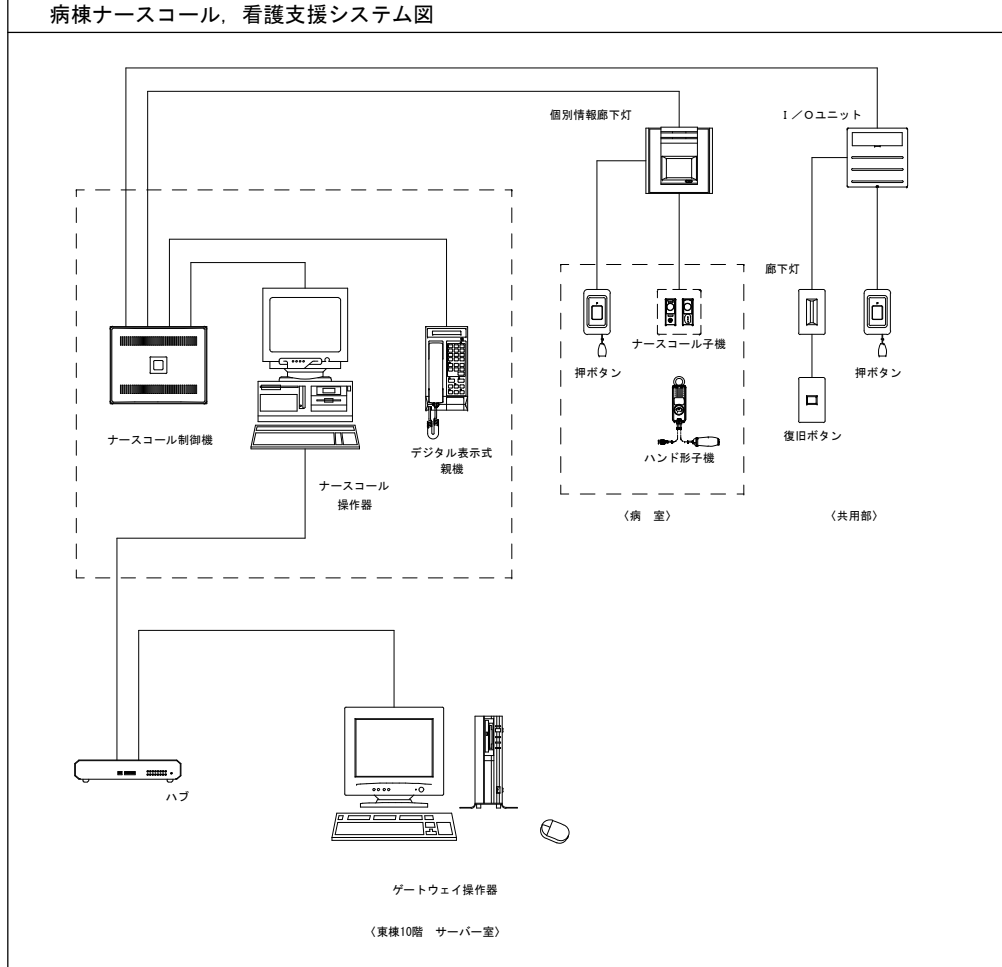
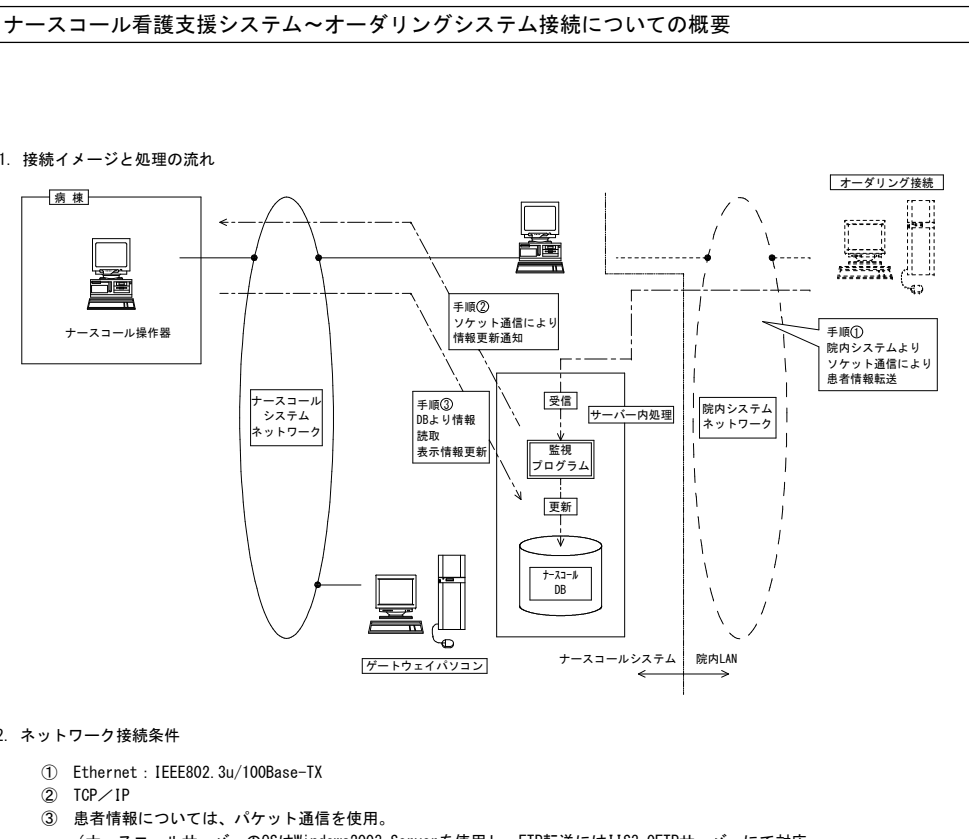
I. ナースコール親機

- 1) 通話単位：1 病床 1 回線方式の通話
通話路数：同時4通話（ナースコール親機+ハンディリモート副親機4）
- 2) ナースコール呼出表示：ナースコール親機ディスプレイ部にポップアップウィンドウ表示を行う。また、名前や看護情報（色又は文字にて表示）を見ながら通話できる。
- 3) ディスプレイ部のタッチパネルによる簡単な操作で患者さんへの呼び出し通話ができる。（一斉放送・選局一斉放送）
- 4) チーム設定：患者さんの担当チームをディスプレイの操作にて行うことができる。
- 5) 患者基本情報（氏名、性別、住所、TEL等）は別途オーダーリングシステム経由でシステムに接続することができる。
- 6) 患者情報管理機能
 - ① 患者情報表示
在床の確認、救護区分、障害情報、感染症情報等の情報が待機画面の色分け表示できる。
 - ② 患者情報登録・更新
患者情報、看護情報（看護度、生活の自由度等）の登録・更新・参照ができる。
- 7) 病床情報管理機能
入院予約、退院予定、転棟、転ベッド、外出・外泊、空きベッド参照などの病床情報の管理を行う。
- 8) 病棟情報表示機能
以下の情報をディスプレイに表示することができる。

① 入院者人数	② 在院者人数
③ 現在在院者人数	④ 空床
⑤ 当日移動者	⑥ 明日の移動者
⑦ 明日日から一週間の期間の移動者	
⑧ 検査/手術予定者	⑨ 外出/外泊予定者
⑩ 同姓同名者	⑪ 掲示板
- 9) 呼出音量の自動調整機能
親機の呼出チャイム音は、夜間など周囲が静かな時に音量を下げるができる。
- 10) 通話音量の個別調節機能
患者さんごとにスピーカから出る音量、マイク感度を一定の範囲で設定することができる。特に声の小さい人、耳の遠い人に設定することが可能。
- 11) 親機待機画面
ボードタイプ表示のみの待機画面となります。また、各患者の看護情報を色表示することができる。
- 12) 患者情報表示
① 部屋番号 ② ベッド番号 ③ 氏名 ④ 性別 ⑤ 連絡先番号及び氏名 ⑥ 感染症 ⑦ 障害 ⑧ チーム名などが表示可能。
- 13) ナースコール履歴一覧表画面
過去24時間・過去1ヶ月のナースコール履歴を表示できる。
- 14) ハンディリモート副親機割付機能
チーム別に担当分けされた患者さんからのコールをどのハンディリモート副親機の呼出にするかを設定できる。
- 15) ハンディリモート副親機の患者名表示機能
患者さんからのコールに対し、ハンディリモート副親機の液晶部分に部屋番号等を表示させることができる。別途電話設備PHSを使用する。

II. 患者別情報廊下灯

- 1) 通常の画面では、患者さんの名前を表示しないで風景や草花、動物の絵を表示する。（設定によっては名前を表示することも可能）
復旧押釦操作により「絵」画面と「名前」画面の切替えが可能。
- 2) ナースコールされた時は、患者さんが誰かすぐわかるように名前を表示する。但し、名前を出したくない患者様の場合、プライバシー設定をする事により表示を出さない。
- 3) 画面はナースコール表示パソコンにて選択し表示が可能。



（機能）

I. ナースコール親機

- 1) 通話単位：1 病床 1 回線方式の通話
通話路数：同時4通話（ナースコール親機+ハンディリモート副親機4）
- 2) ナースコール呼出表示：ナースコール親機ディスプレイ部にポップアップウィンドウ表示を行う。また、名前や看護情報（色又は文字にて表示）を見ながら通話できる。
- 3) ディスプレイ部のタッチパネルによる簡単な操作で患者さんへの呼び出し通話ができる。（一斉放送・選局一斉放送）
- 4) チーム設定：患者さんの担当チームをディスプレイの操作にて行うことができる。
- 5) 患者基本情報（氏名、性別、住所、TEL等）は別途オーダーリングシステム経由でシステムに接続することができる。
- 6) 患者情報管理機能
 - ① 患者情報表示
在床の確認、救護区分、障害情報、感染症情報等の情報が待機画面の色分け表示できる。
 - ② 患者情報登録・更新
患者情報、看護情報（看護度、生活の自由度等）の登録・更新・参照ができる。
- 7) 病床情報管理機能
入院予約、退院予定、転棟、転ベッド、外出・外泊、空きベッド参照などの病床情報の管理を行う。
- 8) 病棟情報表示機能
以下の情報をディスプレイに表示することができる。

① 入院者人数	② 在院者人数
③ 現在在院者人数	④ 空床
⑤ 当日移動者	⑥ 明日の移動者
⑦ 明日日から一週間の期間の移動者	
⑧ 検査/手術予定者	⑨ 外出/外泊予定者
⑩ 同姓同名者	⑪ 掲示板
- 9) 呼出音量の自動調整機能
親機の呼出チャイム音は、夜間など周囲が静かな時に音量を下げるができる。
- 10) 通話音量の個別調節機能
患者さんごとにスピーカから出る音量、マイク感度を一定の範囲で設定することができる。特に声の小さい人、耳の遠い人に設定することが可能。
- 11) 親機待機画面
ボードタイプ表示のみの待機画面となります。また、各患者の看護情報を色表示することができる。
- 12) 患者情報表示
① 部屋番号 ② ベッド番号 ③ 氏名 ④ 性別 ⑤ 連絡先番号及び氏名 ⑥ 感染症 ⑦ 障害 ⑧ チーム名などが表示可能。
- 13) ナースコール履歴一覧表画面
過去24時間・過去1ヶ月のナースコール履歴を表示できる。
- 14) ハンディリモート副親機割付機能
チーム別に担当分けされた患者さんからのコールをどのハンディリモート副親機の呼出にするかを設定できる。
- 15) ハンディリモート副親機の患者名表示機能
患者さんからのコールに対し、ハンディリモート副親機の液晶部分に部屋番号等を表示させることができる。別途電話設備PHSを使用する。

II. 患者別情報廊下灯

- 1) 通常の画面では、患者さんの名前を表示しないで風景や草花、動物の絵を表示する。（設定によっては名前を表示することも可能）
復旧押釦操作により「絵」画面と「名前」画面の切替えが可能。
- 2) ナースコールされた時は、患者さんが誰かすぐわかるように名前を表示する。但し、名前を出したくない患者様の場合、プライバシー設定をする事により表示を出さない。
- 3) 画面はナースコール表示パソコンにて選択し表示が可能。

ナースコール看護支援システム～オーダーリングシステム接続についての概要

1. 接続イメージと処理の流れ

2. ネットワーク接続条件

- ① Ethernet：IEEE802.3u/100Base-TX
- ② TCP/IP
- ③ 患者情報については、パケット通信を使用。
（ナースコールサーバーのOSはWindows2003 Serverを使用し、FTP転送にはIIS3.0FTPサーバーにて対応、オーダーリング側はFTPクライアントとして接続可能なこと）

3. ナースコールで取り扱い可能な情報

① 患者ID、氏名、カナ氏名、生年月日、性別	② 入院日、退院日情報
③ 外出、外泊情報	④ 病棟、病室、病床情報
⑤ 感染症情報（10種類：MRSA、HB、HC、HIV、WA、緑膿菌、TBなど）	
⑥ 障害情報（全角32文字）	
⑦ 救護区分情報	⑧ 緊急連絡先1、2（氏名、電話番号）
⑨ 担当医情報 x3名	⑩ 看護チーム名（4チーム：A～D）
⑪ 担当ナース情報 x2名	

4. データ送信タイミング

オーダーリングシステムよりナースコールへのデータ送信タイミングに関しては、オーダーリング処理単位でのリアルタイム送信で処理されるが、即時性を要求されない情報については夜間パッチなどの一括転送にて対応可能する。

データ発生対象処理・入退院登録・看護情報登録
・転科・転棟・転床・患者情報登録
・担当情報更新時（主治医/担当医、受持看護婦）